



## 特集

# 9月9日は「救急の日」

自分たちにできることは。

9月9日は救急の日です。

「救急の日」とは、「9(きゅう)9(きゅう)」の

語呂合わせと、救急医療に対するの理解を深め、

救急に関する意識を高めることを目的に、

昭和57年に厚生労働省によって制定されたものです。

消防庁が発表した平成28年の救急出動件数は

605万件(対前年比6万9千件)に上り、

8年連続の増加で過去最多となりました。

救急出動は今後も増え続けるとの予測もできています。

今回は、救急現場の現状や応急処置、

普段からできる救急医療への備えについて

考えてみたいと思います。

管内の救急出動状況や  
応急処置、傾向等について、  
大隅肝属地区消防組合南部消防署の石塚消防  
士長にお話を聞きました。

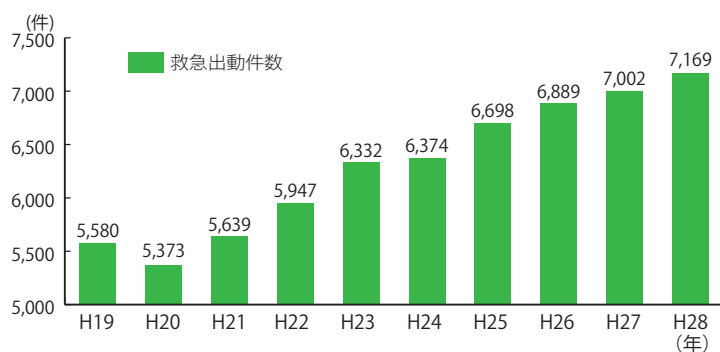
### 管内の救急出動件数と 平均到着時間について

大隅肝属地区消防組合管内の過去10年の出動件数は、平成19年の5,580件から増加し続け、平成28年には7,169件と、10年前に比べて1,500件以上増えています。

また、実際に病院へ搬送された件数は6,563件で、このうち4,075件が65歳以上の高齢者で約62%を占めています。(平成28年中)

次に、119番通報から救急車が現場に到着するまでの平均到着時間を見てみると、全国平均8・6分に対し、管内では9・5分と約1分近く長くかかることが分かります。

119番の救急要請を受けると、要請現場から一番近い救急車が出



平成19年～28年の大隅肝属地区消防組合における救急出動件数

場しますが、その近くにあるはずの救急車が出場している場合は、遠くにある別の救急車が出場することになるので、到着が遅れることとなります。

「管内でも入院を必要としない軽傷者の搬送が年々増えており、昨年は約34%が軽傷者の搬送となっています。」

救急車は限りある資源です。1人でも多くの命を救う為に救急車の適正な利用をお願いします。」